

6月以降の教育活動について

約1か月半の長い臨時休業も、今月いっぱいでは終わりととなりました。いよいよ来週からは、本格的な学校再開となります。しかし、北海道の緊急事態宣言は解除されたとはいえ、コロナウイルス感染の不安がなくなった訳ではありません。誰かが言っていました、「解除」だとすっかり気が緩むので「緩和」だと考えた方がよいと。私もそう思います。一已小学校は教育活動を再開しますが、子どもたちの安全・安心を第一に考え、これからもコロナウイルス対策をしっかりと行っていきます。

「学習」について

4月20日より始まった今回の臨時休業。5月31日までの期間の中で、土曜・日曜以外の日（通常なら登校する日）は26日ありました。一已小学校では、5月11日の週から分散登校を始めましたので、全く学校へ来なかった日は、6年生で数えると17日となります。では、これだけ休みが続いた中で、一已小学校は今後どのようにして今年度の学習を進めていくのかを説明いたします。

<考え方 1>

国語・算数・理科・社会・外国語（活動含む）は、年度当初の計画通りに授業を行う。

<考え方 2>

その他の教科等については、授業時間を1割カットする。



考え方の「2」を読んで、不安になられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

日本の公立小学校には、「学習指導要領」というものがあり、これに各教科で教える内容が網羅されています。全国の公立小学校において、指導内容に差が出ないためです。今年度の学習については、文部科学省から【学習指導要領の内容は全て指導すること】と通知も出されています。ですから、各教科等の内容は、全てしっかりと指導を行います。

では、どうやって1割削減するかというと、『指導する内容の中で、似たような事項を削っていく』という方法をとります。例えば、図工で年に4回絵を描いていたとすれば、それを3回にしたり。音楽で年に歌を3曲歌っていたら、それを2曲にしたり。そういう見直しをしながら、6月から来年の3月までに、今年度中に指導しなければならない内容を全て指導していこうと考えています。

「心のケア」について

毎年6月に行っている一巳小学校の「教育相談」。児童と担任が二人きりで話す時間を設定し、児童の心配事を取り除いたり、悩みを解決したりする場として取り組んでいます。

今年度は、この教育相談の中に、新型コロナウイルス感染症に関わることも取り入れようと考えています。長期にわたる臨時休業に伴う不安やストレス、また、感染症への不安や恐れなどを抱いている場合もあるものと考え、それらについても話題にして、一人一人に応じた心のケアに努めたいと考えています。

この「教育相談」にあたり、保護者の皆様から事前にアンケートをとらせていただこうと考えています。アンケートは、6月第1週の末に配布いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

＜教育相談＞ 6月9日（火）～24日（水）の中で随時行います

今年度のPTA活動、学校行事について

気にしていただいている方が多いことと思います。

＜PTA活動＞

6月4日（木）にPTA三役と学校とで、今年度のPTA活動についての話し合いをもちます。決まったことは、なるべく早く皆様にお知らせするようにいたします。

今現在、お知らせできることは、「例年、7月の参観懇談日に行うことが多い親子レクについて、今年度は行わない」ということです。

＜学校行事＞

現在、調整中です。修学旅行や宿泊学習など、学校としては最大限の工夫や配慮を行うことで実施できるようにと取り組んでいます。しかし、今後北海道教育委員会や深川市教育委員会から判断が出される場合もあることをお含みおきください。



その他について

＜水泳授業＞

- ①学年ごとの授業になるため、プールや更衣室で密になること。
- ②児童が組になって安全を確認するため、密になること。
- ③プールや更衣室を毎日消毒することが困難なこと。

以上の理由により、今年度の水泳授業は行いません。

（「水泳の心得」という座学の授業だけ1時間行います）

＜夏休み＞

夏休みの短縮、または、夏休み中の授業日の設定については、深川市内で統一される予定です。現在、深川市教育委員会の判断を待っている状況です。

